



Love Land aiLand



新宮町立新宮中学校相島分校
文責 森北さわこ
令和7年12月24日発行
分校通信No.10

それぞれの思いがあふれる BFC退団式

11月27日(木)、北部消防本部より、署長様、予防課長様、予防係主任様の計3名をお招きして、BFC退団式を行いました。署長様からは、3年生の4名に記念品が渡されました。1,2年生は、3年生へのこれまでの感謝の気持ちと、自分たちがこれからBFCの伝統を引継ぎ、責任を担っていくことについて、意気込みや思いを堂々と述べました。3年生は、1,2年生に対するこれまでの厳しい練習や訓練に対する労いや、後輩に託したいBFCに対する思いを熱く語りました。しかし、この日は荒天のため最終便が10時50分となり、全員隊服のまま港まで生徒も教師も走るという事態となりました。ある意味、忘れられない退団式となったのではないかと思います。予定されていた署長様のお話は船の時間の関係上、いたくことができなかったため、生徒会・BFC退任式で代読させていただきました。退団式での3年生の振り返りを一部抜粋して紹介します。

【中隊長 花田 瑞希さん】

私が一番心に残っているのは、運動会です。夏休みの間、みんなで毎日限られた時間の中で、運動会に向けての練習を頑張りました。新体制となり、うまくやっていくのか不安でいっぱいでした。夏休みの練習計画、運動会の番員決め、みんなへの指示。どれも新しいことだらけで悩むことも多くありました。しかし、それも私にとってはよい経験になったと思います。そして、運動会当日。とても緊張しました。結果、うまくはいきませんでしたが、これは「失敗」ではないと思います。もちろん、最後の運動会だったので成功させたかったですが、今年のBFCの披露は今までとは違う「感動」を味わい、届けられたかなと思います。また、BFCの披露が終わったあと、みんなが一緒に涙を流してくれたことを今でも覚えています。私にとっては忘れられない思い出となっています。本当に嬉しかったです。

私は過去の先輩のようにはなれませんでしたが、自分らしい中隊長として後輩たちを支え指導できたと思います。これからも「自分たちの島は自分たちで守る」を絶やすことなく、お互いを責め合はず、みんなで高め合っていってほしいなと思います。そして、誰に対しても常に感謝の気持ちを忘れずに持ち、活動に励んでいってください。誰よりもみなさんのことを応援しています。3年間、ありがとうございました。



【門田 咲希さん】

BFCに入団してから今日までの2年半、たくさんの出来事がありました。入団したばかりの頃は第二小隊の4番員。走っている時は、いつでも前にかっこいい先輩たちの背中がありました。4月、もう前を向いてもあのかっこいい先輩の背中はありません。でも横を見ると今まで一緒に高め合ってきた同級生の姿があります。担った役職は違えど、自分に任せられたものに費やした時間は同じです。肩を並べて頑張ってきた同級生とともに次は私達がかっこいい背中を見せる番だと確信しました。

私から、みなさんに伝えたいことは、「緊張感をもつこと」です。ただでさえ、分校は忙しいことで有名です。そこにBFCという相島ならではのものがあり、練習時間がそう多くはありません。その限られた時間の中でどれだけ前回の自分よりも成長できるかが勝負です。本番ではもちろんのこと、練習でも気を抜かず頑張るということを心の片隅においてください。私達3年生が残したものはどうか次の代へと繋いでいってほしいです。

私達が退団してもみんななりの素晴らしいBFCを創り上げることを期待しています。



【水津 栄さん】

高みを目指し続けることです。現状に満足しないこと、よりBFC活動に熱量を入れることが大切です。私達3年生もよりよくしようと、意見が食い違うこともあります。そんなときは、過去の先輩たちを見習ったり、時には、私達なりのやり方を見つけたりして、困難を乗り越えてきました。高みを目指し続けければ、いつかは壁に当たります。しかし、それを乗り越えてきたからこそ、BFCは七十七年間の歴史があります。常に高みを目指し続け、BFCをより良いものにしていくことが私は大切だと思います。

二年生の皆さん。去年の初々しさがなくなり、すっかり頼もしい顔つきと姿勢になりました。一年生の時からの変化が目に見えてわかります。一年生が入ってきて、規律の動きを教える姿には先輩としての責任が感じられ、感動しました。不安は尽きないと思いますが、私達3年生もいつも、不安が尽きず、そのたびに話し合って解決してきました。過去の先輩方と同じような方法でなくとも、二年生らしく振る舞い、受け継がれてきた伝統を絶やさず、二年生らしいBFCをつくっていってください。



【仲道 啓史さん】

私が伝えたいのは、みなさんに、昔の私が体験したように、見てくれている人に「かっこいい」や「すごい」と思われるようにならないといけないことです。私達が退団しても、島の方々だけでなく、見に来てくれた方を感動させられるようにしてください。また、自分で考え、行動してください。より良いものに変化できるように。そして、小さな声を大切にしてください。小さな声が、今までより良くなることもあります。そして、話し合ってわからなかつたら、実際に行ってください。

また、小さなところからでも良いので、「変化」し続けてください。会議したりして、ときに争うこともあるでしょう。それは、「変化」しているからです。恐れず、進み続けてください。

最後に、私達は去年の3年生とは違います。そのため、去年とは違う、新しい風が吹いたのでしょうか。常識にとらわれない、自由な考えを持つ今の2年生だからこそ、BFCに新しい風が吹くことを期待しています。



生徒会・BFC所信表明 期待しています！



【新生徒会長 松本 真瑠奈さん】

私は総合委員として、生徒会長の仕事を間近で見てきました。現生徒会長の咲希さんや前生徒会長の幸美さんを見て、生徒会長という存在に憧れを抱いていました。二人はそれ違うやり方で、生徒会長を務めていました。私も、お二人のような後輩が憧れる生徒会長になるかどうか不安ですが、私なりに、責任感を持って生徒会長を務めたいと思います。「生徒会長ってすごいな、かっこいいな」と思ってもらえるようなお手本となり、周りに頼ってもらえる生徒会長を目指します。より良い相島分校を作ることは、もちろん私一人ではできません。分校生徒全員で作り上げていくものです。どうか、みなさんの力を貸してください。

どうぞよろしくお願いします。



【新学習委員長 山崎 楓子さん】

今年の学習委員会の取組はとても充実していて、読書も勉強も体力づくりもすべてを行い、分校メンバーみんなが一体となってやっているのがとてもすごいなと思いました。私は一二年生のときに生活委員会でやらせてもらっていた、生徒会に参加できる最後の年に初めて、学習委員長になるのは心配と不安でいっぱいです。ですが私は私なりの学習委員長として分校の手助けをしていきたいと思います。最初から、一人でするのはとても難しいので、同じ学習委員と話し合いながら、今年の活動も取り入れつつ、新しい活動にも挑戦してみようと思っています。

これから一生懸命頑張りますのでどうぞ一年間よろしくお願いします。



【新生活委員長 澤 佑都さん】

私は、委員会をより良いものにするためには、たくさんの人の意見を聞くことが大切だと思います。自分や委員会内の意見だけではわからない、新しい発想があると考えるからです。毎月の取組の振り返りを見て改善するのはもちろん、フォームからだけではなく実際に聞いてみることも実践したいと思います。毎月の活動だけでなく、常時活動も同じようにもっとより良くしていきたいです。

私はこれから委員ではなく委員長として生徒会に取り組んでいきます。ときには、どうすればいいのかわからなくなることもあるかと思います、しかし、そういう時こそ、皆さんに聞いたり、先生方に聞いたりしながら生徒会に全力で取り組んでいきます。これからどうぞよろしくお願いします。



【新BFC中隊長 中原 唯さん】

先輩方が築き上げてきたBFCの雰囲気や流れは、今のBFCを支える大切な柱です。これから私は、その思いを受け継ぐ中隊長として、仲間が前向きに活動できる雰囲気づくりを大切にしていきます。困っている仲間に気づいて声をかけ、一人で頑張りすぎないようお互いに支えあったり、一人ひとりに寄り添い合ったりできる関係を作っています。今の私にできることは、まだ多くはありません。しかし、先輩方から教えていただいたことを胸に、これからも誠実な姿勢で活動に向き合っていきます。そして、「自分達の島は自分達で守る」を信条として、常に高みをめざし、仲間と力を合わせ、地域の安心につながる行動を積み重ねながら、中隊長として成長していきたいです。これから1年間、どうぞよろしくお願いします。

堂々！チャレンジ議会

12月17日(水)、新宮町議事堂で、「チャレンジ議会」が行われました。公職選挙法等一部改正により、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことで、新宮町の将来を担う子どもたちに、早い時期から自分の町の政治や町の仕組みに関心をもつもらうことを目的としています。役場にある実際の議事堂で、3年生4人が各取組を説明した後、現職の議員さんたちから質問を受け、堂々と答弁する姿に深く感動しました。とても緊張したことと思いますが、その場で内容を考えて適切な言葉を選び丁寧に意見を述べる様子は、まさに新宮町の将来を担うに相応しい姿でした。



走り切った！持久走大会

12月18日(木)、小中合同で、元気に持久走大会が行われました。保護者の皆様や島の方々の応援の中、待合所からスタートし、それぞれが目標とする距離の達成に向けて一生懸命に走りました。自己ベストを更新した人もたくさんいました。皆さんよく本当に頑張りました！一生懸命に最後まで走る姿はとてもかっこよかったです！保護者の皆様、島の方々、温かいご声援ありがとうございました。



2学期を振り返って

3学期へ向けて

【1年生代表 榎村 萌花さん】

運動会ではたくさんの初めてのことに挑戦しました。その中でも特に頑張ったのはBFC活動のポンプ操法です。最初は1年生の私の横に立つ3年生の存在がとてもプレッシャーでした。でも、せっかく私を選んでくれたのだから最後まで責任を持って頑張ろうと思い、3年生と同じような動き、声量を出せるように3年生の動きを見て学んだりアドバイスをもらったりしながら夏休みからずっと自主的に練習をしました。結果は少し残念なことになりましたが、この悔しさを次につなげていきたいと思います。

私は去年、練習の時も持久走大会本番でも、1kmも走ることができませんでした。そのときはクラスメイトと比べてしまい悔しくて自主的に走っていました。そのおかげで、今年の体育の授業で走ってみると2kmを走れることに気づきました。今年の持久走大会はとても達成感を感じました。この味わった達成感によって少し自信がつきました。努力は必ず報われることがわかりました。3学期も経験したことのない行事などもあると思いますが、何に関しても自ら自主練をしたり、全力で臨んだりなど私が2学期頑張ったことは全て継続していきたいです。

【2年生代表 澤 佑都さん】

修学旅行では沖縄に行き、歴史や文化、平和について多くのことを学びました。その中でも、私が一番印象に残っている場所はアブチラガマです。現地のガイドさんから、沖縄戦の中でどのように使われていたのか、当時の様子について詳しく教えていただきました。特に心に残ったのは、何人ものケガをした人たちがこのアブチラガマに身を寄せていたという話です。多くの人が戦争に駆り出され、苦しい思いをしていましたが伝わってきました。一方で、このアブチラガマがあったからこそ、命が助かった人がいたことも知りました。私はこの場所に感謝とともに、戦争は決してはいけないものだと改めて強く感じました。そして、今、私が平和な中で楽しく学校生活を送っていることにも感謝しています。

多くのことを学んだ今学期を生かして、3学期につなげたいこともあります。例えば、提出物を早めに出すことです。2学期は、提出物が期限ギリギリになることが多く、あわてて取り組んでもしまうことがあります。3学期は自分に余裕をもたせるためにも、提出期限を意識し、できればもらった次の日に出すくらいの気持ちで取り組んでいきたいです。この2学期の反省を3学期に生かし、さらに成長できるよう努力していきたいです。

【3年生代表 水津 葉さん】

三年生にとっては、二学期のすべての行事に「中学校最後の」が付く、思いのこもるものでした。運動会や文化祭では地域の方と交流することもでき、楽しい思い出を作ることもできました。特に運動会は、相島の一大イベントです。私は今年、白組のリーダーを務めさせていただきました。リーダーをしていて、辛いことや壁にぶつかるときが何回かありました。そんなとき、私が大切にしたのが「中学三年生として」という言葉です。この言葉は、自分が分校の最高学年であることを改めて自覚させてくれました。また、自分が周りを引っ張っていかなければどうするんだ、私ならやれる、と自分を鼓舞する言葉にもなりました。そして、どうすればいいかわからないことや、自分一人でできないことがあれば、同級生や一二年生、先生方を頼りながら乗り越えることができました。行事を通して、周りに支えてくれる人がいること、互いに支え合うことの重要性に気づくことができました。中学校最後だからこそ、行事や行事の中での地域の人との関わりで学べたことを心にとめて、三学期も生かしていきたいです。

二学期は、高校入試の過去問題をすることが多くなりました。家では今までのフクトを解き直したり、三年生の教室の前にある勉強スペースで休み時間に勉強したりして、受験に向けて頑張っています。また、授業のときに同級生同士で互いに教え合うことで理解を深め合い、より充実した知識を得ることができました。

この冬休みの過ごし方が私達三年生の未来を左右します。塾があったり、休日もたくさん勉強をしたり、ゆっくりする間もありませんが、自分たちの夢に向かって精一杯頑張りたいと思います。

皆さんにとって、2学期はどんな学期になりましたか？日々の授業や学校生活、たくさんの行事を通して、分校生徒全員、先生方とのつながりを深め、多くのことを学び、成長を感じる学期となつたことでしょう。それぞれが2学期の自分自身を振り返り、成長を実感するとともに、改善すべき点は3学期につなげていくようにしましょう。

個人的な話になりますが、副校長先生は、作成した猫二匹（木彫）を、文化祭で皆さんに観てもらえたことがとてもうれしかったです。見て聞いて感じる楽しさ、創造したり表現したりする喜び、芸術や文化を愛する心。生涯もち続けていると嬉しいと願っています。私もそうあります。

（副校長）

【保護者の皆様へ】

日頃から本校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。2学期はたくさんの行事があり、多くの体験を通して子供たちは大きく成長したと思っております。3学期は1年の締めくくりの学期であると同時に、次の学年に向けての準備期間となります。ぜひ、来年も引き続き、ご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。よいお年をお迎えください。

